

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 27日

山形市長 佐藤 孝弘 殿

提出者 山形市大字中野字的場936番地
住所 株式会社 山形県食肉公社
氏名 代表取締役社長 金澤淳
電話番号 023-684-5656



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山形県食肉公社
事業場の所在地	山形市大字中野字的場936番地
計画期間	令和5年4月1日より令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	と畜業、食肉製造販売 分類番号 95
② 事業の規模	資本金16億8288万円 年間売上 180億
③ 従業員数	129人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1, 2



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙 3		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙4
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組)	
○汚泥のメタンガス発酵による減容化		
○メタンガスタンクを1基増設し冬場の発酵槽の温度を保ち汚泥減容化に努める。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
○夏場の余剰ガスの利用		
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	○発生毎に分別して保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	○未定	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物性固形不要物（糞屑胃の内容物）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	348 t	t
	（これまでに実施した取組） ○堆肥として農地に還元している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同	上
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	400 t	t
	（今後実施する予定の取組） ○予備発酵（切り返し）し利用し易くする。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5341.7 t	0 t
（これまでに実施した取組） ○汚泥のメタン発酵促進（酵素剤利用） ○メタンガスタンク増設で冬場の保温に努め分解促進し汚泥濃度を下げ汚泥発生量を抑える。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	同	上
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6500 t	0 t
（今後実施する予定の取組） ○脱水汚泥の含水率をさげる。			

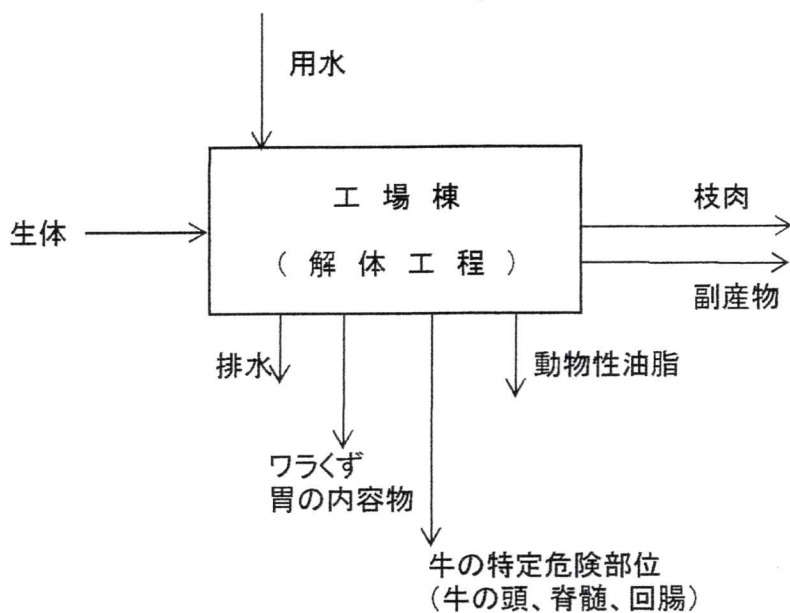
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙5	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ○産業廃棄物処理業者の優良認定の確認をする。 ○汚泥の溶出試験をして成分を再確認した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙5	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

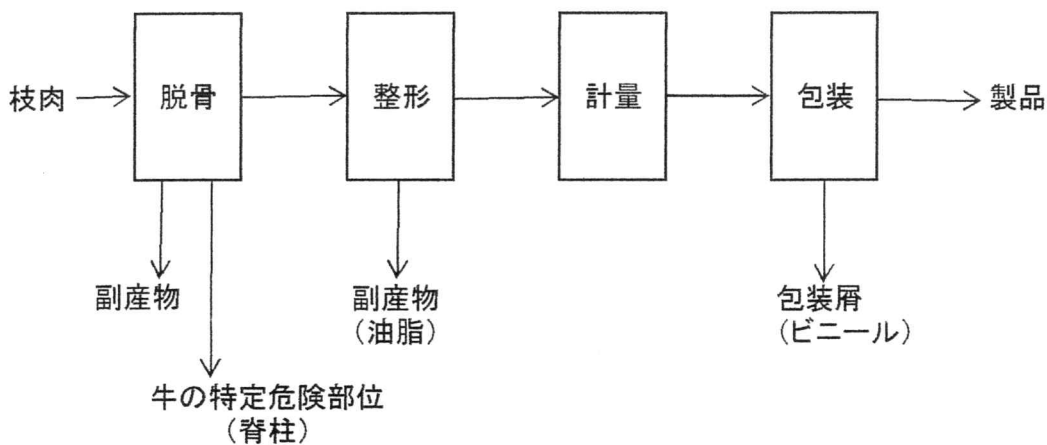
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

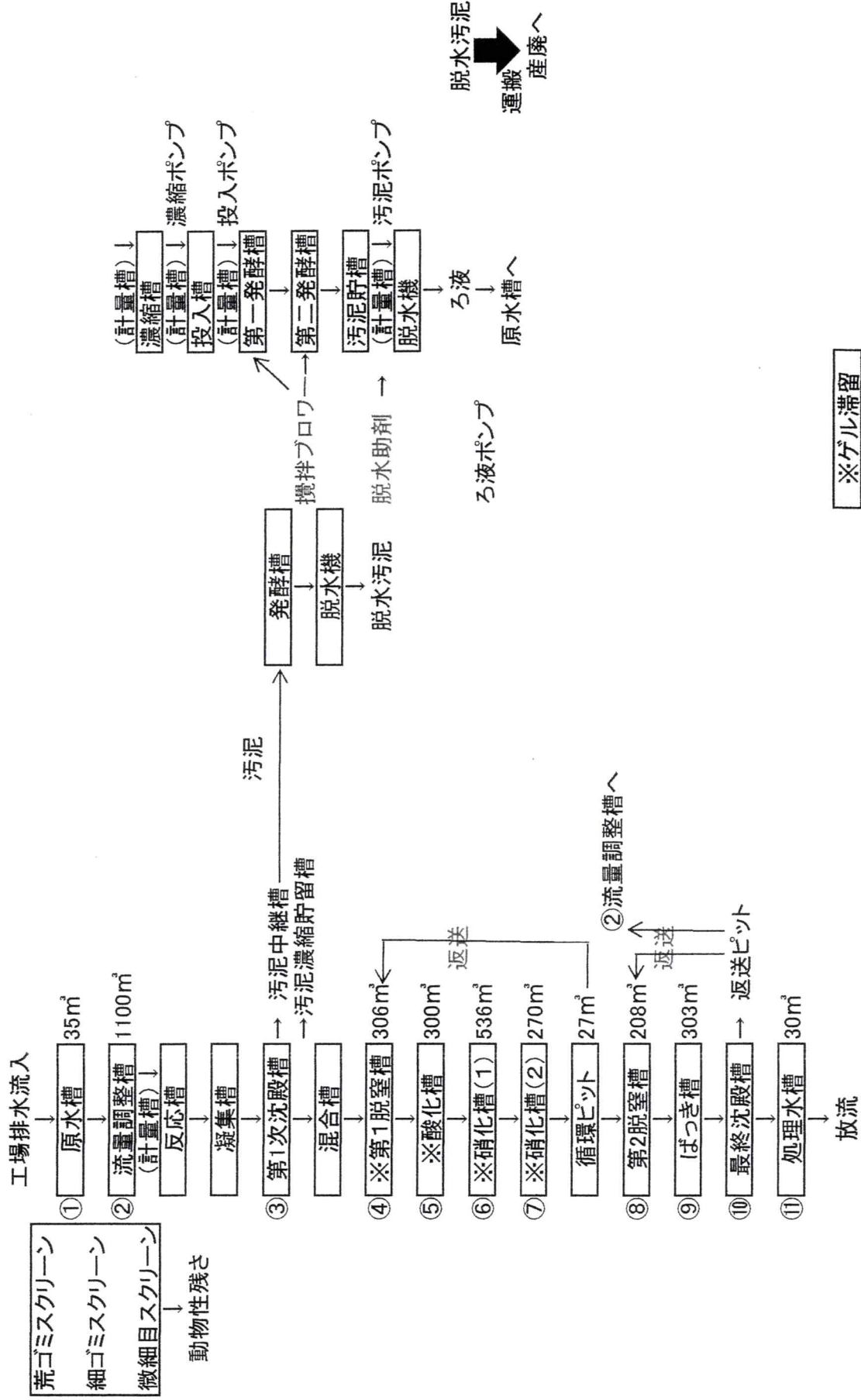
図一1 解体工程フローシート[No.1]



図一2 加工・包装工程フローシート[No.2]



図一3 排水処理施設フローシート[No.3]



2. 管理体制(廃棄物処理に関する管理組織等)

統括責任者	総務部長 鈴木秀之
廃棄物担当	総務部 施設課 組織人数：2名
役割	廃棄物処理統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課長 <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物管理表の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項

廃棄物管理組織

